



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'97 1月号



▲12月22日 家紋凧を作った！

明けましておめでとうございます。

昨年は、開館20周年記念事業として春に「開館20周年記念展」を、夏に「動く大地展」を、秋に「木谷實展」を開催いたしました。多くの方々のご協力とご参加をいただきました。ありがとうございました。

春の「開館20周年記念展」では、記念シンポジウム「すべてのまちに博物館を—高まる地域博物館への期待—」の討議の中でパネラーから「平塚市博物館のようなスタイルの地域博物館が来世紀のあるべき姿を先取りしているのではないか」とのご意見があり、当館の今までの活動が評価されたのではないかと再認識しております。

今年も、これまでの活動を基本に、さらに発展させていくための大切な年と考えておりますので、皆様のご意見、ご協力をお願い申し上げます。

館長 岡本 稔

日食と月食

月と太陽が起こす現象に日食と月食があります。今年は平塚でも3月9日に部分日食が、9月17日には皆既月食が起きます。日食は太陽が、月食は月が欠ける現象ですね？私はこどもの時そう教わって皆既月食（一部が欠ける時を部分食、全部が隠れる時を皆既食^{かいき}と言います）を眺めたところ、丸い銅のような色の月が空に浮かんでいて「欠けていないじゃないか！」と思ったことがあります。

皆既月食なのに、月はなぜ見えてしまうのでしょうか？

皆既月食はしばしばあるのに、なぜ皆既日食はなかなか起きないのでしょうか？

月食はかならず満月の時なのはなぜでしょう？

日食と月食には、根本的な違いがあります。日食は月そのものが太陽をさえぎるのに対し、月食で月を欠けさせるのは地球の影なのです。「だから、それがどうして..」と思われた方は、ぜひ、3月の日食の前にこの番組をごらんください。日月食の起きるしくみ、両者の違い、観察のしかたなど、今年平塚で見られる現象を中心にいっぺんにご案内します。



部分日食（1987年9月23日）

利用案内

■投影日・時刻

土曜、日曜 11:00 14:00

（途中入場はできません）

■観覧料 100円

（第2、4土曜は小人無料）

■定員 86名

今月の寄贈品コーナー

「お正月の遊び」

1月5日（日）～30日（木）

■『もういくつ寝るとお正月、お正月には凧あげて、独楽を回して、遊びましょ。早く来い来いお正月』と、童謡『お正月』にも歌われたように、子どもたちは、お正月が来るのを指折り数えて楽しみに待っていました。

■現在はあまりみかけなくなりましたが、かつてお正月には寒風を突いて男の子は外で「凧あげ・独楽回し」、女の子は「羽根つき」と元気に遊び回りました。また、家の中ではこたつを囲んで「かるた・双六・福笑い・トランプ」等で家族で楽しいひとときを過ごしました。

■今月の寄贈品コーナーでは、館所蔵の玩具を中心とした「中田コレクション」「本間コレクション」や市民の方から寄贈された「玩具」の中から、昔なつかしい『正月の玩具』・今年の干支「丑」にちなんで「牛」をモチーフとした『郷土玩具・干支玩具』・毎年暮れに実施している体験学習『家紋凧を作ろう』の様子や作品の一部や製作工程を展示紹介します。なお、「家紋凧」の展示は市内横内にある平塚家紋凧保存会（会長・小宮喜久雄氏）の協力によるものです。

平塚市史料展 ◆歴史の向こうの心に逢う◆

「平塚の中世近世絵画」



十一面観音曼荼羅図 神田宗庭筆（平塚市博物館蔵）



釈迦涅槃図 藤原美信筆（大神観音堂所有）

平塚市教育委員会は、平成4年度から5カ年計画で「平塚市中世近世絵画調査」を実施してきました。今回の平塚市史料展は、この調査で得られた成果を公表するものです。

この調査からは、市内の寺社に伝わる数多くの絵画の所在が明らかとなりました。

その中には、制作が中世にまで遡る古いものもありました。また、江戸時代以降の作品であっても技術的に優れた作品もいくつかあり、こうした文化財的価値の高いものについては、すでにいくつかを市の重要文化財として指定しました。

善徳寺の法然上人像、長善寺の観心十界曼荼羅図、真福寺の親鸞聖人像・浄土七高僧像・聖徳太子像・蓮如上人像、福田寺の十六羅漢図及び十王図などは、今回の調査で、文化財としての価値が明らかとなり、市指定重要文化財とな

ったものです。

今回の調査で、もう一つの成果は、藤原美信という絵師の作品が市内に多く存在していることがわかったことです。

藤原美信は、各々の絵の落款・印章などから「東川斎桂山藤原美信」と名乗り、その年記から制作活動の時期が江戸時代も末の天保年間であることがわかるものの、その来歴については不明で、いまのところ謎の絵師といってもよいでしょう。ですが、市内にまとまって作品が存在すること、制作活動時期がほぼ把握されることなどから、当時の平塚の文化状況を知るうえで、歴史的にも重要な人物だといえます。

今回の史料展は、これらの作品を含めて、市内に存在する絵画のいくつかを集め展示いたします。普段は目に触れにくいものばかりです、この機会にぜひご参観ください。

開催期間 1月18日（土）～26日（日）

会場 博物館特別展示室

■問い合わせ 社会教育課文化財保護係 0463-35-8124〔直通〕

1月の行事予定

8	水	地質調査会
11	土	◎漂着物を拾う会(平塚海岸) 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会
12	日	民俗探訪会「八王子道を歩くⅤ」 (厚木市依知) 地質調査会 ○自然観察会「カモの観察」(酒匂川)
18	土	地質調査会(館内) 平塚の空襲と戦災を記録する会
19	日	古代遺跡を探す会
23	木	石仏を調べる会(小鍋島)
25	土	古文書講読会
26	日	相模川の生い立ちを探る会 「鐘ヶ岳と七沢石」(鐘ヶ岳)
31	金	月末休館日
2月の行事予定		
1	土	天体観察会「スターウォッチング調査」
2	日	民俗探訪会「八王子道を歩く」(相模原市)
5	水	地質調査会(館内)
7	金	天体観察会「ハールボップ彗星の観察」
8	土	◎漂着物を拾う会 平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会
9	日	○こども観察会「水鳥の観察」(花水川) 地質調査会(野外)
13	木	石仏を調べる会(大島)
15	土	地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会
16	日	古代遺跡を探す会
19	水	裏打ちの会
22	土	古文書講読会
23	日	相模川の生い立ちを探る会(経ヶ岳) ○体験学習「日時計を作ろう」(博物館)
27	木	石仏を調べる会(下島)
28	金	月末休館日

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

●寄贈品コーナー

「お正月の遊び」

凧・独楽・羽子板・双六など正月に遊ぶ懐かしい玩具を紹介します。

期間：1月5日(日)～1月30日(木)

「鍬物語」

昭和30年代に機械化される以前、鍬は農具の主役でした。平塚で使われた鍬の種類と用途を紹介します。

期間：2月1日(土)～2月27日(木)

●プラネタリウム

「ハールボップ彗星がやってくる」

期間：1月5日(日)のみ

「日食と月食」

期間：1月11日(土)～3月9日(日)

投影日時：土・日曜日の11:00と14:00

観覧料：100円

参加者募集

●第4回こども観察会「水鳥を見よう」

川にいるカモやカモメの仲間を観察します。

日時：2月9日(日) 9:30～12:00

場所：花水川

対象：小中学生およびその保護者

申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を

記入し、博物館「こども観察会」係へ

〆切：1月25日(土)

●漂着物を拾う会

海岸に打ち上げられた動植物や人工物を拾い調べます

日時：1月11日(土) 9:30～11:00

場所：平塚海岸(花水川橋平塚側記念碑前集合)

参加：自由



去る11月17日、博物館で藁草履を作りました。集まった人は29名で、その半数が子どもたち。子どもたちは初めての縄紬いに悪戦苦闘しながらも、なんとか自力で草履を完成させました。藁の感触、縄紬いのやり方、草履の構造などを知らない体験になったことと思います。

あなたと博物館

21巻 10号 巻239号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949